

釜石発

育てたもち米でもちつき



釜石市立白山小学校で、学校の水田で育てたもち米を使ってもちつきが行われました。5、6年生が臼と杵でもちをつき、食べやすい大きさにちぎって、あんこもちやくるみもちを作りました。この日はコメ作りの世話をした農家の人も招かれ、子どもたちは田植えから収穫までを振り返りながら、つきたてのもちを美味しく頬張っていました。(12/6 ニュースエコー)

陸前高田発

砂浜再生を見学

陸前高田市にある高田松原の砂浜再生工事の見学会が行われました。高田松原は津波で2キロの砂浜と松林が流失しましたが、去年10月に本格的な工事が始まり、1キロほどの砂浜が再生されました。見学会に参加した地元の高中生や県内の大学生は、砂浜を歩いて砂の感触を確かめていました。2年後の海水浴場としての利用を目指しています。(12/9 ニュース)



釜石発

第九「歓喜の歌」響く



釜石市で市民によるベートーベンの交響曲「第九」演奏会が開かれました。年末恒例「かまいしの第九」は今年41回目です。合唱団「かまいし第九の会」のメンバーを中心に県内外から参加した小学1年生から80代まで140人余りが、復興の願いを込め「歓喜の歌」をホールに響かせました。観客からは惜しめない拍手が送られました。(12/9 ニュース)

メンバーを中心に県内外から参加した小学1年生から80代まで140人余りが、復興の願いを込め「歓喜の歌」をホールに響かせました。観客からは惜しめない拍手が送られました。(12/9 ニュース)

宮古発

サケの直売所が営業

宮古の冬の風物詩、サケの直売所の営業が始まりました。直売所には、津軽石川河口で捕れたばかりのサケ、800匹あまりが運び込まれました。訪れた人たちは1人オスメスそれぞれ4匹までという制限の中、できるだけ大きいものを選び買い求めています。営業は来年1月下旬までです。(12/10 ニュースエコー)



釜石発

サンタがやってきた!



ひと足早くサンタがやってきました。フィンランド・サンタクロース財団公認のサンタクロースが釜石市の甲東こども園を訪れました。盛岡の百貨店が震災被災地の子どもたちに夢と元気を届けようと招待しました。元気な歌を披露した子どもたちは、最後にサンタから一人ひとりお菓子のプレゼントをもらい大喜びでした。(12/10 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの久保田祥子さんが、12月23日(日)宮古市の津軽石川の河川敷で開催される『第47回 元祖・宮古鮭まつり』について伝えてくれました。県内で初めて川の中に入っての鮭つかみどりを実施したイベントということで、『元祖』と名づけられています。つかみどりの参加料は1000円です。必要な軍手や胴長は事務局が用意するので、手ぶらで参加できるとの事でした。(12/12)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122